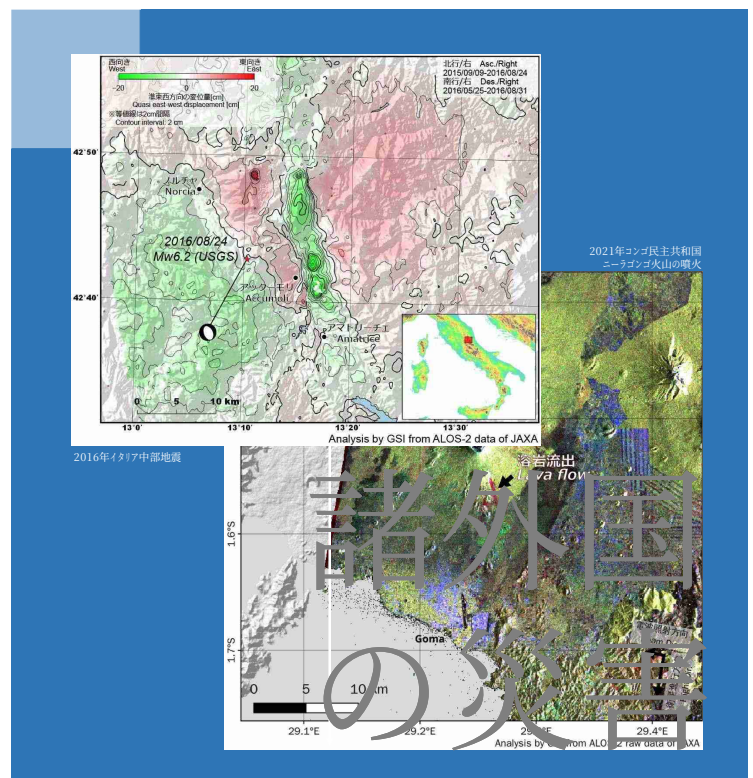
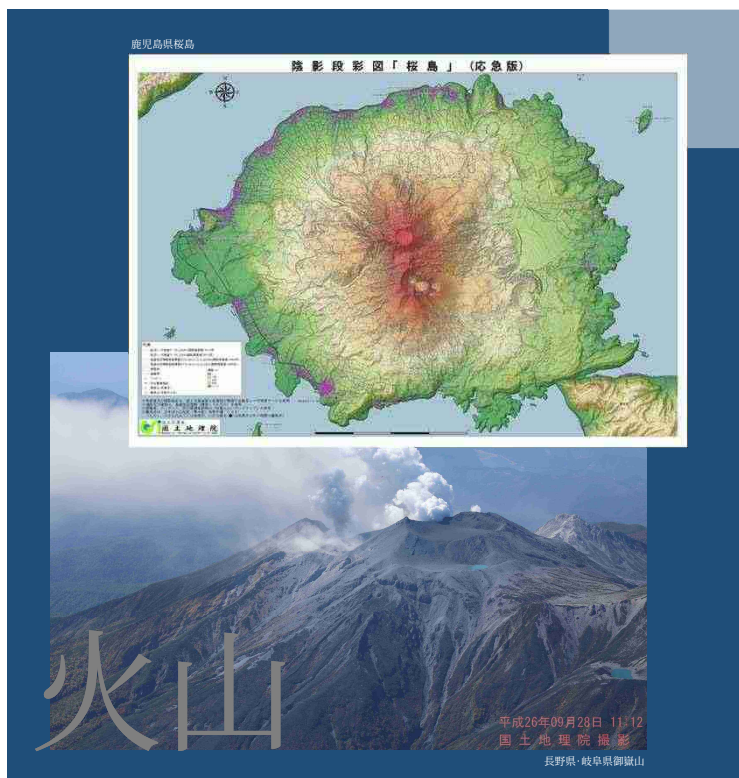
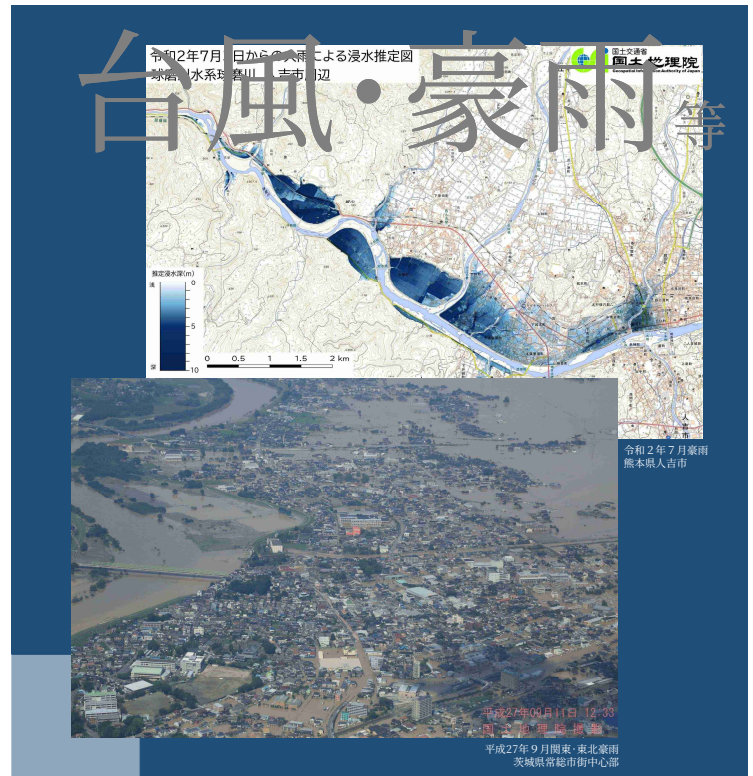
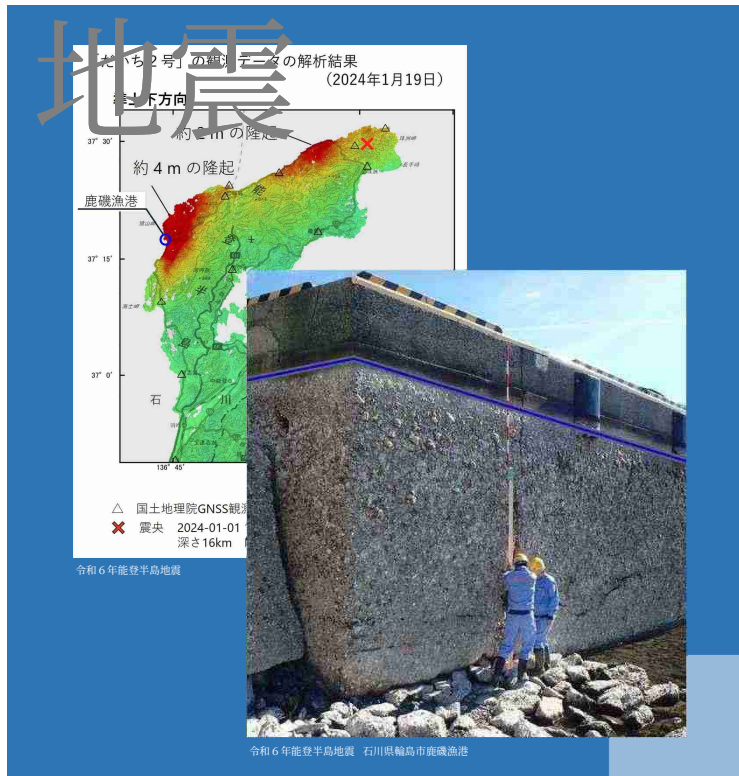


「災害対策基本法」に基づく「指定行政機関」 — 国土地理院の災害対応 —

国土地理院は、「災害対策基本法」に基づく「指定行政機関」として、測量・地図分野の最新技術を活用し、地殻変動及び被災状況を速やかに把握・分析し、関係機関及び国民に情報を分かりやすく提供しています。



※「災害対策基本法に基づく指定行政機関」とは：

内閣総理大臣により指定された行政機関で、それぞれが持つ専門的な知識や能力を活かし、幅広い分野で重要な役割を果たします。

令和6年能登半島地震①

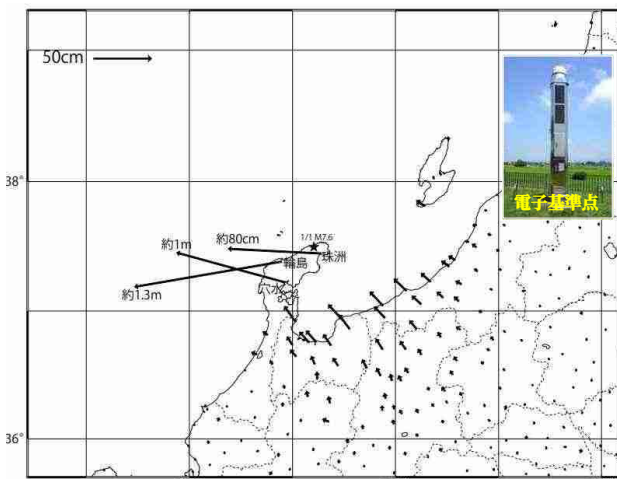
国土地理院は、「災害対策基本法」に基づく指定行政機関として、測量・地図分野の最新技術を活用し、地殻変動の監視や地理空間情報の整備、提供、公開をしています。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震（M7.6 最大震度7）においても、国土地理院では、様々な災害対応を実施しています。整備した各種情報を関係機関に随時提供するとともに、HPに公開しました。

地殻変動の把握

■電子基準点による地殻変動

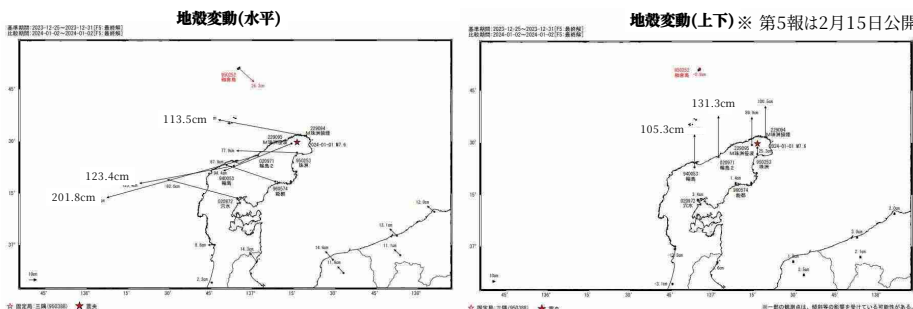
令和6年能登半島地震（1月1日 M7.6）前後の観測データ
[リアルタイム解析結果]
地殻変動(水平) ※ 1月1日公開



リアルタイム解析（REGARD）結果を速報値として公開
※被災した電子基準点の観測データを一部除いています。

□ 電子基準点の観測データをリアルタイムに解析し、地震に伴う地殻変動情報を関係機関に提供。解析結果は発災当日より国土地理院HPから順次公開。

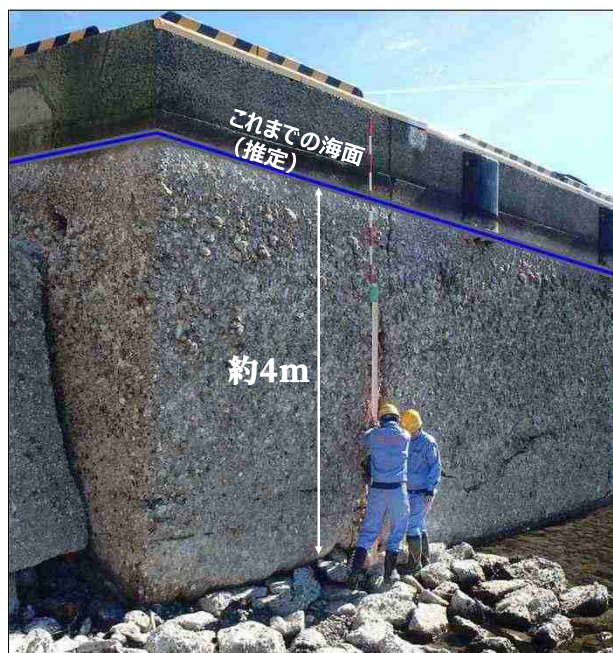
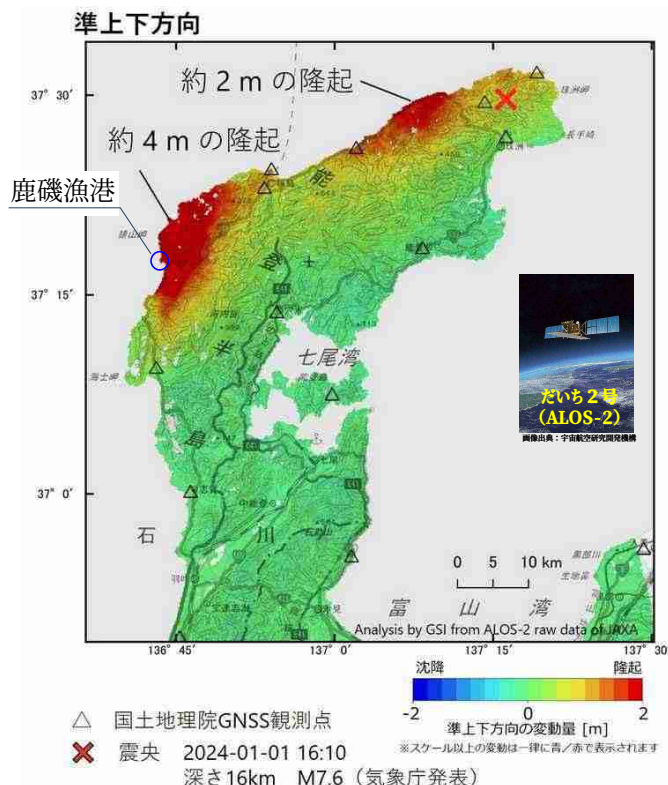
令和6年能登半島地震(1月1日 M7.6)前後の観測データ（第5報）



停電や通信障害から復旧した電子基準点等から観測データを取得する毎に地殻変動情報を更新。第5報では、追加取得された電子基準点「舳倉島」の観測データ、最終版のGNSS衛星の軌道情報を基に地殻変動情報を更新している。

■陸域観測技術衛星「だいち2号」の観測データによる地殻変動

□ 「だいち2号」の観測データによるSAR干渉解析等を実施し、能登半島の全域の地殻変動を把握。

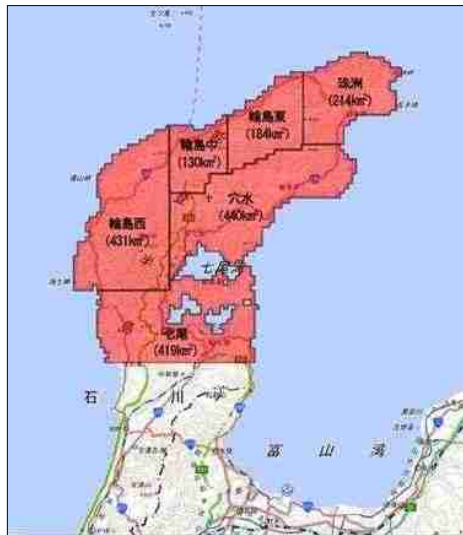


・「だいち2号」解析結果の整合確認のため現地調査を実施
・鹿磯漁港で約4mの隆起を確認

令和6年能登半島地震②

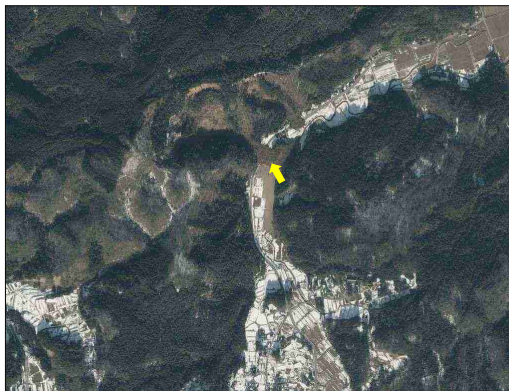
被災状況の把握

■空中写真の撮影



空中写真の撮影範囲

□ 被災状況を広域に把握するため航空機による空中写真撮影を実施



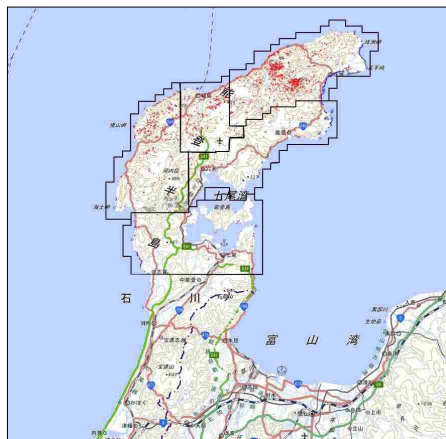
空中写真：河道閉塞の状況
(輪島市町野町金蔵付近)



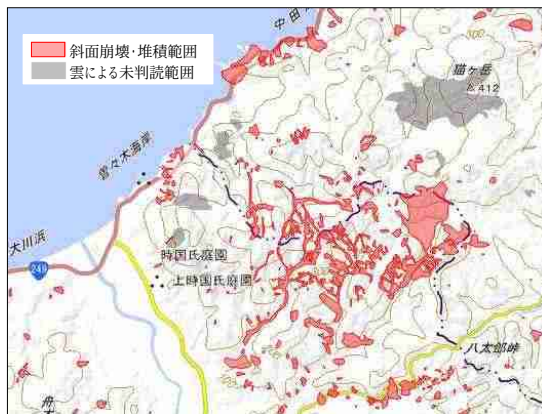
空中写真：津波の浸水状況
(珠州市宝立町春日野付近)

■空中写真の判読による被害状況の把握

□ 空中写真を判読し、斜面の崩壊や津波の浸水域を抽出し、斜面崩壊・堆積分布図及び津波浸水域（推定）を整備



斜面崩壊・堆積分布図及び津波浸水域
(推定)の作成範囲



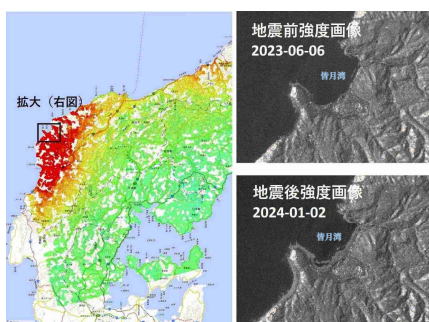
斜面崩壊・堆積分布図
(珠州市と輪島市の境界付近)



津波浸水域（推定）
(珠州市宝立町鶴飼付近)

■SAR強度画像による被害状況の把握

□ 地震前後のSAR強度画像を用いてRGB合成画像を作成し、地震後に生じた陸化した地域を抽出（隆起量の大きい皆月湾周辺では、幅約200m陸化した場所を確認）



SAR強度画像で捉えられた沿岸域の陸化域（輪島市皆月湾周辺）



【沿岸の陸化域と拡大図】



沿岸の陸化域
(だいち2号衛星画像による判読)